

資料編

○アンケート調査票

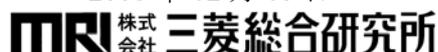
研究開発評価のためのデータベースの構築・運用・活用に関するアンケート
【大学・大学共同利用機関・研究開発型独立行政法人向け】

研究開発評価のためのデータベースの構築・運用・活用に関するアンケート
【資金配分型独立行政法人向け】

研究開発評価のためのデータベースの構築・運用・活用に関するアンケート
【民間企業向け】

研究開発評価のためのデータベースの構築・運用・活用に関するアンケート 【大学・大学共同利用法人・研究所型独立行政法人向け】

2008年12月19日



《はじめに》

このたび、株式会社三菱総合研究所では、文部科学省科学技術・学術政策局の委託により、研究開発評価のためのデータベースの構築・運用・活用に関する調査を行うことになりました。

調査対象はこの調査票は、すべての大学、大学共同利用機関法人、研究所型独立行政法人に対して送付しています。

今回の調査は、データベースを活用することにより、効率的に研究開発評価を実施している先進的な事例を収集することにより、研究開発評価を推進するための方策を検討することを目的としています。

《ご記入にあたって》

貴学・貴法人で全体の研究開発の評価または大学・法人評価業務を担当されている方が回答ください。

本アンケートは、郵送または電子メール返送のいずれかで回答してください。

いずれの方法も **1月30日(金)**までに回答ください。

【郵送によるご回答】

本調査票に直接記入の上、同封の返信用封筒にて返送ください。

【電子メールによるご回答】

本調査用ウェブサイト(<http://www.stu-mri.jp/hyoka-db/>)から調査票ファイルをダウンロードして記入し、hyoka-db@mri.co.jpまで返信ください。

【FAXによるご回答(締め切り直前の場合)】

締め切り直前の場合は、本調査票をFAXして頂いてもかまいません。

《回答頂いた情報の取り扱いについて》

ご回答頂いた内容につきましては、今回の調査目的に従って、統計的な分析を行うためのみに使用し、その他の目的で利用することはございません。個別の大学・法人が特定されるような扱いは致しませんので、ご協力をお願い致します。なお、回答いただいた方には、まとめ次第、電子メールで調査結果をフィードバックいたします。

《アンケートの目的や内容に関するお問い合わせ先》

株式会社三菱総合研究所 科学・安全政策研究本部 担当：高谷徹、山本芳嗣

お問い合わせ用メールアドレス hyoka-db@mri.co.jp

本調査用ウェブサイト(調査票ダウンロード、FAQなど) <http://www.stu-mri.jp/hyoka-db/>

電話 (03)3277-0898 FAX 03-3277-0568

連絡先を記入ください。

【重要】

※ご役職、ご氏名、ご連絡先(電話)、ご連絡先(電子メール)につきましては、個人情報となりますので、別紙「個人情報のお取り扱いについて」の説明文を読み、了解、承諾された上でご記入ください。アンケート内容の確認、結果のフィードバック、インタビュー調査の依頼(任意)のみに利用します

＜ご記入欄＞

大学名・法人名			
ご所属(部署)			
ご役職*		ご氏名*	
ご連絡先(電話)*		ご連絡先(電子メール)*	

個人情報のお取り扱いについて

本アンケートは、文部科学省科学技術・学術政策局より、「研究開発評価活動のグローバル化の推進及び研究開発評価のためのデータベースの構築・運用・活用に関する調査・分析」の業務委託を受けて三菱総合研究所が実施するものです。

ご回答者の個人情報のお取り扱いについては、下記のとおり適切に管理いたしますので、ご同意の上、アンケートにご回答下さい。

1. 個人情報の取扱いに関する 弊社の基本姿勢	三菱総合研究所は、2003年1月8日にプライバシーマークの付与・認定を受けております。 ご回答者の個人情報は、弊社が定める「個人情報保護方針」に則り、適切な保護措置を講じ、厳重に管理いたします。
2. ご回答者の個人情報の利用 目的	ご回答者の個人情報は以下の目的のために利用させていただきます。下記以外の目的で個人情報を利用する場合は、改めて目的をお知らせし、同意を得るものといたします。 (1) アンケート内容の確認 (2) アンケート調査結果のフィードバック (3) インタビュー調査のご協力依頼(任意)
3. ご回答者の個人情報の提供 提供：事業者が自ら保有する個人 情報を自社以外の者が利用でき るようにすることをいう。(委託 を除く)	個人情報の提供の予定はありません。
4. ご回答者の個人情報の委託 委託：事業者が利用目的達成に必 要な範囲内において、個人情報の 取扱いの全部又は一部を自社以 外の者に預けることをいう。	ご回答者の個人情報は、外部委託事業者に個人情報を取扱う業務を委託いたします。 その際、必要な契約を締結し、弊社の従業員に対するのと同等の管理を行います。
5. ご回答者の個人情報の利用 終了後の措置(個人情報の保 管期間)	当該業務終了後は、三菱総合研究所が責任をもって廃棄いたします。
6. ご回答者が個人情報を弊社 に与えることの任意性及び当該 情報を与えなかった場合にご回 答者に生じる結果について	・お名前・ご連絡先をご記入いただいた場合、後日、アンケート回答内容について、ご質問させていただくことがございます。 ・お名前・ご連絡先を記入いただいた方には、アンケートの集計結果についてお知らせする場合があります。 ・ご回答された方が、個人名の記載を希望されない場合には、個人名の部分につきまして空欄でも構いません。その場合、アンケートの集計結果についてお知らせすることはできません。
7. 個人情報に関するご連絡先	(1) 個人情報保護管理者 株式会社三菱総合研究所 常務執行役員 渡井康之 (連絡先: 03-3270-9211、E-mail: privacy@mri.co.jp) (2) 苦情・相談窓口: 経営企画部 広報グループ 電話: 03-3277-4515 FAX: 03-3277-3490 E-mail: prd@mri.co.jp URL: http://www.mri.co.jp/kojin/

◆ 弊社の「個人情報保護方針」「個人情報のお取り扱いについて」をご覧になりたい方は
<http://www.mri.co.jp/TOP/privacy.html> をご覧下さい。
 又、ご請求いただければお送り致します。

お問合せ番号: P018709-002-c

本アンケートで「データベース」とは、データが一元的に管理されているものを指し、大規模なデータベースシステムである必要はありません。表計算ソフト(Excel など)などファイルで管理されている場合であっても、データがまとめられて管理されていれば、「データベース」とみなします。

問1 教員・研究者個人の業務実績に関する情報収集・管理について

貴学・貴法人で実施している教員・研究者個人の業務実績の情報の取り扱いおよびそれに関連する業務についてお尋ねします。

問1-1 貴学・貴法人では、教員・研究者個人の活動状況の情報をどのように管理していますか。あてはまるもの 1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------------|-----------------|
| 1. 全学・法人全体のデータベースで管理している | → 問 1-3へ |
| 2. 学部・部門で分かれた複数のデータベースで管理している | → 問 1-3へ |
| 3. 情報内容(項目)毎に分かれた複数のデータベースで管理している | → 問 1-3へ |
| 4. 必要な度に収集しているが、管理していない | →問 1-2を答えて問 2 へ |
| 5. 情報を収集していない | →問 1-2を答えて問 2 へ |

問1-2 (問 1-1で4、5と回答した方のみ)教員・研究者個人の業務実績の情報をデータベースで管理していない場合、その理由は何ですか。あてはまるもの すべてに○をつけてください。

- | |
|---------------------------|
| 1. データベースで管理する必要性を感じない |
| 2. 教員・研究員に理解が得られない |
| 3. データベース構築に割く人的余裕がない |
| 4. データベース構築・運用のコストが高い |
| 5. データベース構築・運用に関するノウハウがない |
| 6. IT に明るい人材がいらない |
| 7. その他 (簡潔に: _____) |

問 1-2を回答した方は、以下を飛ばして問 2 へ進んでください。

問1-3 データベースはどのような仕組みですか。もっとも近いもの 1つに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 表計算ソフト(Excel など)、デスクトップデータベース(Access)などファイルで管理 |
| 2. 独自に構築したデータベース(RDBMS など)をサーバーで運用している |
| 3. 業務用のパッケージを購入して構築している(パッケージ名称: _____) |

問1-4 データベースの運用を開始したのはいつですか。あてはまるもの 1つに○をつけてください。

- | | | |
|---------------|-------------|-------------|
| 1. 平成 14 年度以前 | 4. 平成 17 年度 | 7. 平成 20 年度 |
| 2. 平成 15 年度 | 5. 平成 18 年度 | 8. 不明 |
| 3. 平成 16 年度 | 6. 平成 19 年度 | |

問1-5 データベースに納められている教員・研究者個人の研究開発業績の情報はどのようなもので
すか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 氏名	7. 研究分野	13. 外部・内部からの賞・表彰
2. 所属	8. 過去の研究成果	14. マスコミ投稿、掲載、出演
3. 担当授業	9. 論文情報(数、引用数など)	15. 組織運営に係る活動
4. 授業評価結果	10. 特許等の情報	16. 社会貢献活動
5. 指導学生数	11. 外部資金の獲得	17. 評価結果
6. 専門分野、専門性	12. 学会等の活動情報	18. その他

その他の主な内容や特徴的な点をお答えください。

--

問1-6 データベースに収められている教員・研究者数は、貴学・貴法人の教員・研究者全体の約
何%ですか。あてはまるもの 1つに○をつけてください。

1. 100%
2. 80%以上 100%未満
3. 60%以上 80%未満
4. 40%以上 60%未満
5. 20%以上 40%未満
6. 20%未満

問1-7 データベースに納められている教員・研究者個人の研究開発業績の情報をどのような目的で
活用していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 教員・研究者の個人評価
2. 組織・機関単位の評価のための資料作成 → 問 1-8へ進んでください
3. 組織の計画策定(研究戦略や組織改編など)
4. 内部の研究者間の情報共有
5. 一般社会への情報公開
6. 産業界などとの共同研究のマッチング支援
7. 外部データベースへの情報転送
8. その他(具体的に: _____)

以下、上記問 1-7で 2 を選択された方にお聞きします。
(それ以外の方は以下を飛ばして、問 2 へ進んでください)

問1-8 データベース化を行ったことで現在どのようなメリットを感じていますか。あてはまるものすべ
てに○をつけてください。

1. 評価の質の向上・高度な評価
2. 評価の納得性・効果の向上
3. 情報共有・情報公開の実現
4. 評価に関わるコスト(人件費以外)の削減
5. 評価に関わる作業量の削減
6. 評価期間の短縮
7. その他(具体的に: _____)

問1-9 構築したデータベースの実効性や利便性を高めるために、どのような工夫や取り組みをしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

A	入力・更新率の向上や入力作業負担軽減のための工夫	1. 入力を義務づけた 2. 入力した個人や入力率の高い組織に報償を与えた 3. 入力していない場合に個人や組織にペナルティを与えた 4. 内部の他のデータベースと連動させた 5. 外部のデータベース(ReaD等)と連動させた 6. その他(簡潔に: _____)
B	運用上の工夫	7. 操作方法に関する質問窓口や人員を用意した 8. 一定期間ごとに、データベースを見直す仕組みを用意した 9. 情報漏えい対策を施した 10. 運用管理作業をアウトソーシングした 11. その他(簡潔に: _____)
C	評価や企画などに活用する上での工夫	12. 他の教員・研究者や平均値との比較を可能とした 13. 過去のデータとの比較を可能とした 14. 情報共有・情報公開などに利用することを可能とした 15. データ検索機能を工夫した 16. その他(簡潔に: _____)

特に工夫した点について具体的にお答えください。

問1-10 データベースの運用・活用の際にどのような課題がありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

A	データ収集上の課題	1. 入力率が低い 2. 情報の登録の手間が大きい 3. ユーザーインターフェースが悪い(入力しにくい、遅いなど) 4. 他のデータベース(内部)と連携していない(二重入力が発生するなど) 5. 他のデータベース(外部)と連携していない(二重入力が発生するなど) 6. データが正確でない 7. データの更新がされていない 8. その他(簡潔に: _____)
B	運用上の課題	9. 運用のコスト(外注費)が大きい 10. 運用の作業(組織内)が大きい 11. 情報漏えい対策が不十分 12. その他(簡潔に: _____)
C	評価や企画などに活用する上での課題	13. データベースがあまり利用されていない 14. データ項目の変更が容易にできない 15. データの検索機能が不十分 16. その他(簡潔に: _____)

特に課題である点について具体的にお答えください。

問2 組織レベルでの研究活動に関する情報収集・管理について

貴学・貴法人が組織の戦略策定や外部の第三者評価(機関評価)などのために、教員・研究者個人単位ではなく、組織単位で集める情報の取り扱いおよびそれに関連する業務についてお尋ねします。

外部の第三者が行う研究開発評価(機関評価)とは、外部の第三者が実施する研究開発に関連する機関評価(認証評価、法人評価など)のことを指します。

問2-1 貴学・貴法人では、組織レベルでの研究活動に関する情報をどのように管理していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|--|-----------------|
| 1. 全学・法人全体のデータベースで管理している | → 問 2-3へ |
| 2. 学部・部門で分かれた複数のデータベースで管理している | → 問 2-3へ |
| 3. 情報内容(項目)毎に分かれた複数のデータベースで管理している | → 問 2-3へ |
| 4. 教員・研究者個人単位で収集した研究活動を集計し、組織レベルの情報としてデータベースで管理している。 | → 問 2-3へ |
| 5. 必要な度に収集しているが、管理していない | → 問 2-2を答えて問 3へ |
| 6. 情報を収集していない | → 問 2-2を答えて問 3へ |

問2-2 (問 2-1で5、6と回答した方のみ)組織レベルでの研究活動に関する情報をデータベースで管理していない場合、その理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|---------------------------|
| 1. データベースで管理する必要性を感じない |
| 2. 教員・研究員の理解が得られない |
| 3. データベース構築に割く人的余裕がない |
| 4. データベース構築・運用のコストが高い |
| 5. データベース構築・運用に関するノウハウがない |
| 6. ITに明るい人材がいらない |
| 7. その他 (簡潔に: _____) |

問 2-2を回答した方は、以下を飛ばして問 3へ進んでください。

問2-3 データベースはどのような仕組みですか。もっとも近いもの1つに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 表計算ソフト(Excelなど)、デスクトップデータベース(Access)などファイルで管理 |
| 2. 独自に構築したデータベース(RDBMSなど)をサーバーで運用している |
| 3. 業務用のパッケージを購入して構築している(パッケージ名称: _____) |

問2-4 データベースの運用を開始したのはいつですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|---------------|-------------|-------------|
| 1. 平成 14 年度以前 | 4. 平成 17 年度 | 7. 平成 20 年度 |
| 2. 平成 15 年度 | 5. 平成 18 年度 | 8. 不明 |
| 3. 平成 16 年度 | 6. 平成 19 年度 | |

問2-5 データベースに納められているデータはどのようなものですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|-----------------|-----------------|
| 1. 論文総数 | 4. 過去の研究成果 | 7. マスコミ投稿、掲載、出演 |
| 2. 引用数の総数 | 5. 外部資金獲得件数・額 | 8. 評価結果 |
| 3. 特許等の数 | 6. 外部・内部からの賞・表彰 | 9. その他 |

その他の主な内容(項目)や特徴的な点をお答えください。

--

問2-6 組織レベルでの研究開発に関する情報を管理するためのデータベースをどのような目的で活用していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 組織の計画策定(研究戦略や組織改変など)
2. 組織・機関単位の外部評価のための資料作成 → 問 2-7へ
3. 一般社会への情報公開
4. その他(簡潔に: _____)

以下、上記問 2-6で 2 を選択された方にお聞きします。
(それ以外の方は以下を飛ばして、問 3 へ進んでください)

問2-7 特定の評価の第三者評価あるいは外部評価の評価項目を意識した構築を行っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 認証評価(機関別)
2. 認証評価(専門職大学院)
3. 国立大学法人評価・公立大学法人評価
4. 独立行政法人評価
5. その他(具体的に: _____)

問2-8 データベース化を行ったことで現在どのようなメリットを感じていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 評価の質の向上・高度な評価
2. 評価の納得性・効果の向上
3. 情報共有・情報公開の実現
4. 評価に関わるコスト(人件費以外)の削減
5. 評価に関わる作業量の削減
6. 評価期間の短縮
7. その他(具体的に: _____)

問2-9 構築したデータベースの実効性や利便性を高めるために、どのような工夫や取り組みをしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

A	入力・更新率の向上や入力作業負担軽減のための工夫	<ol style="list-style-type: none"> 1. 入力を義務づけた 2. 入力した個人や入力率の高い組織に報償を与えた 3. 入力していない場合に個人や組織にペナルティを与えた 4. 内部の他のデータベース(教員・研究者情報データベースなど)と連動させた 5. 外部のデータベースと連動させた 6. その他(簡潔に: _____)
B	運用上の工夫	<ol style="list-style-type: none"> 7. 情報管理部署を一元化した 8. 一定期間ごとに、データベースを見直す仕組みを用意した 9. 情報漏えい対策を施した 10. 運用管理作業をアウトソーシングした 11. その他(簡潔に: _____)
C	評価や企画などに活用する上での工夫	<ol style="list-style-type: none"> 12. 中期目標・計画との関連性を強めた(目標指標を設定してそれを収集するようにした) 13. 過去のデータとの比較を可能とした 14. 組織(学部など)ごとの比較を可能とした 15. 情報共有・情報公開などに利用することを可能とした 16. その他(簡潔に: _____)

特に工夫した点について具体的にお答えください。

問2-10 データベースの運用・活用の際にどのような課題がありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

A	データ収集上の課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 入力率が低い 2. 情報の登録の手間が大きい 3. ユーザーインターフェースが悪い(入力しにくい、遅いなど) 4. 他のデータベース(内部)と連携していない(二重入力が発生するなど) 5. 他のデータベース(外部)と連携していない(二重入力が発生するなど) 6. データが正確でない 7. データの更新がされていない 8. 情報の所在が不明 9. その他(簡潔に: _____)
B	運用上の課題	<ol style="list-style-type: none"> 10. 運用のコスト(外注費)が大きい 11. 運用の作業(組織内)が大きい 12. 情報漏えい対策が不十分 13. その他(簡潔に: _____)
C	評価や企画などに活用する上での課題	<ol style="list-style-type: none"> 14. データベースがあまり利用されていない 15. データ項目の変更が容易にできない 16. 他大学・法人などとの比較可能性が低い 17. その他(簡潔に: _____)

特に課題である点について具体的にお答えください。

問3 大学・学部などで組織的に実施する研究開発課題の情報収集・活用について

貴学・貴法人において組織的に実施している研究開発課題に関する情報の取り扱いおよびそれに関連する業務についてお尋ねします。研究開発課題とは、教員・研究者が独自に個人ベースで実施している研究ではなく、学内プロジェクトや学内競争的資金など組織として実施・支援している課題です。

問3-1 貴社・貴法人では、個別の研究開発課題の情報をどのように管理していますか。あてはまるもの 1つに○をつけてください。

- | | | |
|-----------------------------------|---|---------------|
| 1. 全学・法人全体のデータベースで管理している | → | 問 3-3へ |
| 2. 学部・部門で分かれた複数のデータベースで管理している | → | 問 3-3へ |
| 3. 情報内容(項目)毎に分かれた複数のデータベースで管理している | → | 問 3-3へ |
| 4. 必要な度に収集しているが、管理していない | → | 問 3-2を答えて問 4へ |
| 5. 情報を収集していない | → | 問 3-2を答えて問 4へ |

問3-2 (問3-1で4、5と回答した方のみ) 個別の研究開発課題の情報をデータベースで管理していない場合、その理由は何ですか。あてはまるもの すべてに○をつけてください。

- | |
|---------------------------|
| 1. データベースで管理する必要性を感じない |
| 2. 教員・研究員に理解が得られない |
| 3. データベース構築に割く人的余裕がない |
| 4. データベース構築・運用のコストが高い |
| 5. データベース構築・運用に関するノウハウがない |
| 6. ITに明るい人材がいない |
| 7. その他 (簡潔に: _____) |

問3-2を回答した方は、以下を飛ばして問4へ進んでください。

問3-3 データベースはどのような仕組みですか。もっとも近いもの 1つに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 表計算ソフト(Excelなど)、デスクトップデータベース(Access)などファイルで管理 |
| 2. 独自に構築したデータベース(RDBMSなど)をサーバーで運用している |
| 3. 業務用のパッケージを購入して構築している(パッケージ名称: _____) |

問3-4 データベースの運用を開始したのはいつですか。あてはまるもの 1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------------|-----------|-----------|
| 1. 平成14年度以前 | 4. 平成17年度 | 7. 平成20年度 |
| 2. 平成15年度 | 5. 平成18年度 | 8. 不明 |
| 3. 平成16年度 | 6. 平成19年度 | |

問3-5 データベースに納められている個別の研究開発課題の情報内容(項目)はどのようなものですか。あてはまるもの すべてに○をつけてください。

- | | | |
|----------------|--------------|----------|
| 1. 課題名称 | 6. 中期計画等との関係 | 11. 進捗状況 |
| 2. 課題の説明・キーワード | 7. 研究開発の成功確率 | 12. 成果 |
| 3. 課題の分類 | 8. 難易度 | 13. 評価結果 |
| 4. 担当者・実施体制 | 9. 予算 | 14. その他 |
| 5. 研究開発内容(実施前) | 10. 発生費用 | |

その他の主な内容(項目)や特徴的な点をお答えください。

--

問3-6 データベースに収められている課題は、現在貴学・貴法人で実施している課題の約何%ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 100%
2. 80%以上 100%未満
3. 60%以上 80%未満
4. 40%以上 60%未満
5. 20%以上 40%未満
6. 20%未満

問3-7 データベースに納められている個別の研究開発課題の情報をどのような目的で活用していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

※研究開発課題の評価とは、実施している研究開発の課題について事前(選定)、中間、事後等に評価することを指します。

1. 組織としての課題のポートフォリオ管理・負荷管理
 2. 個別課題の進捗・成果の管理
 3. 個別課題の予算管理・人的管理
 4. 個別課題の事前評価(選定)
 5. 個別課題の中間評価
 6. 個別課題の事後評価
 7. 内部の研究者間の情報共有
 8. 外部への情報公開
 9. その他(具体的に: _____)
4. 個別課題の事前評価(選定)
5. 個別課題の中間評価
6. 個別課題の事後評価
- 問 3-8へ進んでください

以下、上記問 3-7で 4、5、6 を少なくとも 1 つ選択された方にお聞きします。
(それ以外の方は以下を飛ばして、問 4 へ進んでください)

問3-8 データベース化を行ったことで現在どのようなメリットを感じていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 評価の質の向上・高度な評価
2. 評価の納得性・効果の向上
3. 情報共有・情報公開の実現
4. 評価に関わるコスト(人件費以外)の削減
5. 評価に関わる作業量の削減
6. 評価期間の短縮
7. その他(具体的に: _____)

問3-9 構築したデータベースの実効性や利便性を高めるために、どのような工夫や取り組みをしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

A	入力・更新率の向上や入力作業負担軽減のための工夫	1. 入力を義務づけた 2. 入力した個人や入力率の高い組織に報償を与えた 3. 入力していない場合に個人や組織にペナルティを与えた 4. 内部の他のデータベース(教員・研究者情報データベースなど)と連動させた 5. 外部のデータベースと連動させた 6. その他(簡潔に:)
B	運用上の工夫	7. 操作方法に関する質問窓口や人員を用意した 8. 一定期間ごとに、データベースを見直す仕組みを用意した 9. 情報漏えい対策を施した 10. 運用管理作業をアウトソーシングした 11. その他(簡潔に:)
C	評価や企画などに活用する上での工夫	12. 組織の戦略(中期目標・重点領域など)との関係からの分析を可能とした 13. 予算・進捗管理に用いることを可能とした 14. 情報共有・情報公開などに利用することを可能とした 15. データ検索機能を工夫した 16. その他(簡潔に:)

特に工夫した点について具体的にお答えください。

問3-10 データベースの運用・活用の際にどのような課題がありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

A	データ収集上の課題	1. 入力率が低い 2. 情報の登録の手間が大きい 3. ユーザーインターフェースが悪い(入力しにくい、遅いなど) 4. 他のデータベース(内部)と連携していない(二重入力が発生するなど) 5. 他のデータベース(外部)と連携していない(二重入力が発生するなど) 6. データが正確でない 7. データの更新がされていない 8. その他(簡潔に:)
B	運用上の課題	9. 運用のコスト(外注費)が大きい 10. 運用の作業(組織内)が大きい 11. 情報漏えい対策が不十分 12. その他(簡潔に:)
C	評価や企画などに活用する上での課題	13. データベースがあまり利用されていない 14. データ項目の変更が容易にできない 15. データ検索機能が不十分 16. その他(簡潔に:)

特に課題である点について具体的にお答えください。

問4 研究開発評価全般について

問4-1 研究開発評価に関するデータベースに関しての課題認識、問題意識、ご意見があれば、記述してください。

(例. 共通で利用可能な研究成果データベースの整備など)

問5 貴学・貴法人について

貴学・貴法人についてご回答ください。

問5-1 どのような機関ですか。あてはまるもの 1つに○をつけてください。

- | | |
|---------|-----------------|
| 1. 国立大学 | 4. 大学共同利用機関法人 |
| 2. 公立大学 | 5. 独立行政法人(研究所型) |
| 3. 私立大学 | 6. その他 |

問5-2 主な研究分野は何ですか。あてはまるもの 全てに○をつけてください。

- | | | |
|-------------------|--------------------|------------------|
| 1. 人文・社会科学の基礎研究 | 7. 人文・社会科学の応用研究 | 13. 人文・社会科学の開発 |
| 2. 理学の基礎研究 | 8. 理学の応用研究 | 14. 理学の開発 |
| 3. 工学の基礎研究 | 9. 工学の応用研究 | 15. 工学の開発 |
| 4. 農学の基礎研究 | 10. 農学の応用研究 | 16. 農学の開発 |
| 5. 保健(含医歯薬等)の基礎研究 | 11. 保健(含医歯薬等)の応用研究 | 17. 保健(含医歯薬等)の開発 |
| 6. その他分野の基礎研究 | 12. その他分野の応用研究 | 18. その他分野の開発 |

問5-3 大学の場合、教員数(平成20年3月31日現在)を記載してください。

※教員数の定義、基準日は、総務省「科学技術研究調査」と同等です。

()人

問5-4 独立行政法人(研究所型)の場合、研究者数(平成20年3月31日現在)を記載してください。

※「研究者」とは、大学(短期大学を除く)の課程を修了した者、又はこれと同等以上の専門的知識を有する者で、特定のテーマを持って研究を行っている者をいいます。「研究補助者」、「技能者」、「研究事務その他関係者」は含みません。

※以上の研究者の定義、基準日は、総務省「科学技術研究調査」と同等です。

()人

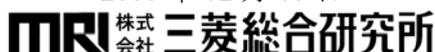
設問は以上です。ご協力ありがとうございました。

記入もれがないか、もう一度ご確認の上、提出してください。

研究開発評価のためのデータベースの構築・運用・活用に関するアンケート

【資金配分型独立行政法人向け】

2008年12月19日



《はじめに》

このたび、株式会社三菱総合研究所では、文部科学省科学技術・学術政策局の委託により、研究開発評価のためのデータベースの構築・運用・活用に関する調査を行うことになりました。

調査対象はこの調査票は、資金配分型の独立行政法人すべてに対して送付しています。

今回の調査は、データベースを活用することにより、効率的に研究開発評価を実施している先進的な事例を収集することにより、研究開発評価を推進するための方策を検討することを目的としています。

《ご記入にあたって》

貴法人で全体の研究開発の評価を担当されている方が回答ください。

本アンケートは、郵送または電子メール返送のいずれかで回答してください。

いずれの方法も **1月30日(金)**までに回答ください。

【郵送によるご回答】

本調査票に直接記入の上、同封の返信用封筒にて返送ください。

【電子メールによるご回答】

本調査用ウェブサイト(<http://www.stu-mri.jp/hyoka-db/>)から調査票ファイルをダウンロードして記入し、hyoka-db@mri.co.jpまで返信ください。

【FAXによるご回答(締め切り直前の場合)】

締め切り直前の場合は、本調査票をFAXして頂いてもかまいません。

《回答頂いた情報の取り扱いについて》

ご回答頂いた内容につきましては、今回の調査目的に従って、統計的な分析を行うためのみに使用し、その他の目的で利用することはございません。個別法人が特定されるような扱いは致しませんので、ご協力をお願い致します。なお、回答いただいた方には、まとまり次第、電子メールで調査結果をフィードバックいたします。

《アンケートの目的や内容に関するお問い合わせ先》

株式会社三菱総合研究所 科学・安全政策研究本部 担当：高谷徹、山本芳嗣

お問い合わせ用メールアドレス hyoka-db@mri.co.jp

本調査用ウェブサイト(調査票ダウンロード、FAQなど) <http://www.stu-mri.jp/hyoka-db/>

電話 (03)3277-0898 FAX 03-3277-0568

連絡先を記入ください。

【重要】

※ご役職、ご氏名、ご連絡先(電話)、ご連絡先(電子メール)につきましては、個人情報となりますので、別紙「個人情報のお取り扱いについて」の説明文を読み、了解、承諾された上でご記入ください。アンケート内容の確認、結果のフィードバック、インタビュー調査の依頼(任意)のみに利用します

＜ご記入欄＞

法人名			
ご所属(部署)			
ご役職*		ご氏名*	
ご連絡先(電話)*		ご連絡先(電子メール)*	

個人情報のお取り扱いについて

本アンケートは、文部科学省科学技術・学術政策局より、「研究開発評価活動のグローバル化の推進及び研究開発評価のためのデータベースの構築・運用・活用に関する調査・分析」の業務委託を受けて三菱総合研究所が実施するものです。

ご回答者の個人情報のお取り扱いについては、下記のとおり適切に管理いたしますので、ご同意の上、アンケートにご回答下さい。

1. 個人情報の取扱いに関する 弊社の基本姿勢	三菱総合研究所は、2003年1月8日にプライバシーマークの付与・認定を受けております。 ご回答者の個人情報は、弊社が定める「個人情報保護方針」に則り、適切な保護措置を講じ、厳重に管理いたします。
2. ご回答者の個人情報の利用 目的	ご回答者の個人情報は以下の目的のために利用させていただきます。下記以外の目的で個人情報を利用する場合は、改めて目的をお知らせし、同意を得るものといたします。 (1) アンケート内容の確認 (2) アンケート調査結果のフィードバック (3) インタビュー調査のご協力依頼(任意)
3. ご回答者の個人情報の提供 提供：事業者が自ら保有する個人 情報を自社以外の者が利用できる ようにすることをいう。(委託 を除く)	個人情報の提供の予定はありません。
4. ご回答者の個人情報の委託 委託：事業者が利用目的達成に必 要な範囲内において、個人情報の 取扱いの全部又は一部を自社以 外の者に預けることをいう。	ご回答者の個人情報は、外部委託事業者に個人情報を取扱う業務を委託いたします。 その際、必要な契約を締結し、弊社の従業員に対するのと同等の管理を行います。
5. ご回答者の個人情報の利用 終了後の措置(個人情報の保 管期間)	当該業務終了後は、三菱総合研究所が責任をもって廃棄いたします。
6. ご回答者が個人情報を弊社 に与えることの任意性及び当該 情報を与えなかった場合にご回 答者に生じる結果について	・お名前・ご連絡先をご記入いただいた場合、後日、アンケート回答内容について、ご質問させていただくことがございます。 ・お名前・ご連絡先を記入いただいた方には、アンケートの集計結果についてお知らせする場合があります。 ・ご回答された方が、個人名の記載を希望されない場合には、個人名の部分につきまして空欄でも構いません。その場合、アンケートの集計結果についてお知らせすることはできません。
7. 個人情報に関するご連絡先	(1) 個人情報保護管理者 株式会社三菱総合研究所 常務執行役員 渡井康之 (連絡先: 03-3270-9211、E-mail: privacy@mri.co.jp) (2) 苦情・相談窓口: 経営企画部 広報グループ 電話: 03-3277-4515 FAX: 03-3277-3490 E-mail: prd@mri.co.jp URL: http://www.mri.co.jp/kojin/

◆ 弊社の「個人情報保護方針」「個人情報のお取り扱いについて」をご覧になりたい方は
<http://www.mri.co.jp/TOP/privacy.html> をご覧下さい。
 又、ご請求いただければお送り致します。

お問合せ番号: P018709-002-c

本アンケートで「データベース」とは、データが一元的に管理されているものを指し、大規模なデータベースシステムである必要はありません。表計算ソフト(Excel など)などファイルで管理されている場合であっても、データがまとめられて管理されていれば、「データベース」とみなします。

問1 研究開発課題の評価について

貴法人で資金配分対象の研究開発課題に関する情報の取り扱いおよびそれに関連する業務についてお尋ねします。

問1-1 貴法人では、個別の研究開発課題の情報をどのように管理していますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

1. 法人全体のデータベースで管理している
2. 部門・分野等で分かれた複数のデータベースで管理している
3. 情報内容(項目)毎に分かれた複数のデータベースで管理している
4. 必要な度に収集しているが、管理していない → 問2へ
5. 情報を収集していない → 問2へ

以下、上記問1-1で1、2、3を選択された方にお聞きします。

問1-2 データベースはどのような仕組みですか。もっとも近いもの 1 つに○をつけてください。

1. 表計算ソフト(Excel など)、デスクトップデータベース(Access)などファイルで管理
2. 独自に構築したデータベース(RDBMS など)をサーバーで運用している
3. 業務用のパッケージを購入して構築している(パッケージ名称: _____)

問1-3 データベースの運用を開始したのはいつですか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|-------------|-----------|-----------|
| 1. 平成14年度以前 | 4. 平成17年度 | 7. 平成20年度 |
| 2. 平成15年度 | 5. 平成18年度 | 8. 不明 |
| 3. 平成16年度 | 6. 平成19年度 | |

問1-4 データベースに納められている個別の研究開発課題の情報内容(項目)はどのようなものですか。あてはまるもの すべてに○をつけてください。

- | | | |
|----------------|----------------|----------|
| 1. 課題名称 | 6. 研究開発内容(実施前) | 11. 発生費用 |
| 2. 課題の説明・キーワード | 7. 中期計画等との関係 | 12. 進捗状況 |
| 3. 課題の分類 | 8. 研究開発の成功確率 | 13. 成果 |
| 4. 担当者(貴法人側) | 9. 難易度 | 14. 評価結果 |
| 5. 実施者・実施体制 | 10. 予算 | 15. その他 |

その他の主な内容(項目)や特徴的な点をお答えください。

問1-5 データベースに収められている課題は、現在実施している課題の約何%ですか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

1. 100%
2. 80%以上 100%未満
3. 60%以上 80%未満
4. 40%以上 60%未満
5. 20%以上 40%未満
6. 20%未満

問1-6 データベースに納められている個別の研究開発課題の情報をどのような目的で活用していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

※研究開発課題の評価とは、実施している研究開発課題について事前(選定)、中間、事後等に評価することを指します。

1. 個別課題の進捗・成果の管理	} → 問 1-7へ進んでください
2. 個別課題の予算管理・人的管理	
3. 個別課題の事前評価(選定)	
4. 個別課題の中間評価	
5. 個別課題の事後評価	
6. 内部の研究者間の情報共有	
7. 外部への情報公開	
8. その他(具体的に: _____)	

以下、上記問 1-6で 3、4、5 を少なくとも 1 つ選択された方にお聞きします。

(それ以外の方は以下を飛ばして、問 2 へ進んでください)

問1-7 データベース化を行ったことで現在どのようなメリットを感じていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 評価の質の向上・高度な評価
2. 評価の納得性・効果の向上
3. 情報共有・情報公開の実現
4. 評価に関わるコスト(人件費以外)の削減
5. 評価に関わる作業量の削減
6. 評価期間の短縮
7. その他(具体的に: _____)

問1-8 構築したデータベースの実効性や利便性を高めるために、どのような工夫や取り組みをしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

A	入力・更新率の向上や 入力作業負担軽減の ための工夫	1. 入力を義務づけた 2. 入力していない場合に個人にペナルティを与えた 3. 内部の他のデータベースと連動させた 4. 外部のデータベースと連動させた 5. その他(簡潔に: _____)
B	運用上の工夫	6. 操作方法に関する質問窓口や人員を用意した 7. 一定期間ごとに、データベースを見直す仕組みを用意した 8. 情報漏えい対策を施した 9. 運用管理作業をアウトソーシングした 10. その他(簡潔に: _____)
C	評価や企画などに活用 する上での工夫	11. 予算・進捗管理に用いることを可能とした 12. 情報共有・情報公開などに利用することを可能とした 13. データ検索機能を工夫した 14. その他(簡潔に: _____)

特に工夫した点について具体的にお答えください。

--

問1-9 データベースの運用・活用の際にどのような課題がありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

A	データ収集上の課題	1. 入力率が低い 2. 情報の登録の手間が大きい 3. ユーザーインターフェースが悪い(入力しにくい、遅いなど) 4. 他のデータベース(内部)と連携していない(二重入力が発生するなど) 5. 他のデータベース(外部)と連携していない(二重入力が発生するなど) 6. データが正確でない 7. データの更新がされていない 8. その他(簡潔に: _____)
B	運用上の課題	9. 運用のコスト(外注費)が大きい 10. 運用の作業(組織内)が大きい 11. 情報漏えい対策が不十分 12. その他(簡潔に: _____)
C	評価や企画などに活用する上での課題	13. データベースがあまり利用されていない 14. データ項目の変更が容易にできない 15. データ検索機能が不十分 16. その他(簡潔に: _____)

特に課題である点について具体的にお答えください。

問2 研究開発評価全般について

問2-1 研究開発評価に関するデータベースに関しての課題認識、問題意識、ご意見があれば、記述してください。
(例. 共通で利用可能な研究成果データベースの整備など)

問3 貴法人について

貴法人についてご回答ください。

問3-1 資金配分対象の主な研究分野は何ですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

- | | | |
|-------------------|--------------------|------------------|
| 1. 人文・社会科学の基礎研究 | 7. 人文・社会科学の応用研究 | 13. 人文・社会科学の開発 |
| 2. 理学の基礎研究 | 8. 理学の応用研究 | 14. 理学の開発 |
| 3. 工学の基礎研究 | 9. 工学の応用研究 | 15. 工学の開発 |
| 4. 農学の基礎研究 | 10. 農学の応用研究 | 16. 農学の開発 |
| 5. 保健(含医歯薬等)の基礎研究 | 11. 保健(含医歯薬等)の応用研究 | 17. 保健(含医歯薬等)の開発 |
| 6. その他分野の基礎研究 | 12. その他分野の応用研究 | 18. その他分野の開発 |

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。
記入もれがないか、もう一度ご確認の上、提出してください。